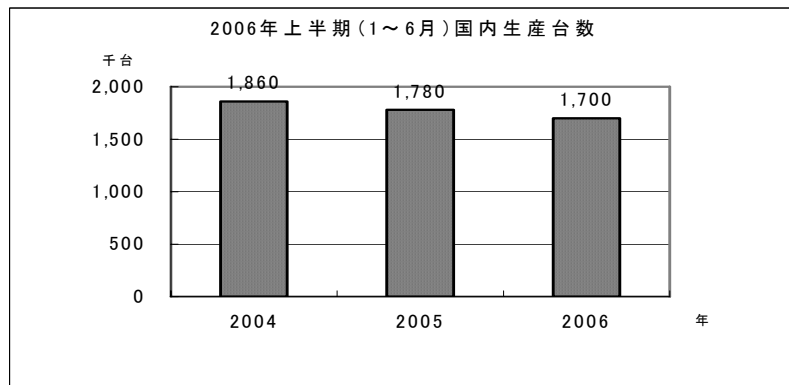


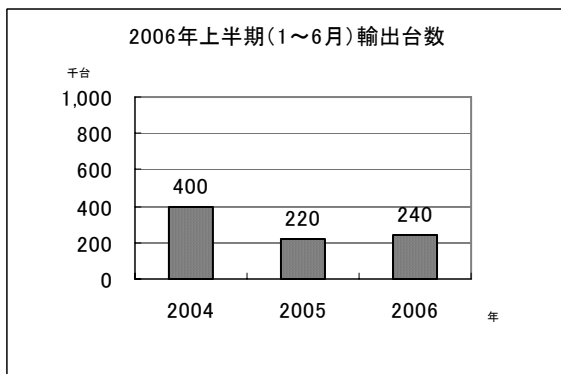
2006 上半期ドイツ自転車市況

ドイツ自転車工業会（ZIV）によると、2006 年上半期（1～6 月）の国内出荷台数は、前年同期とほぼ横ばいの 305 万台にとどまった。今年ドイツで開催されたサッカー・ワールドカップがもたらす経済への波及効果により販売への好影響が期待されたが、全く影響をもたらさなかった。国内生産台数は、前年同期並みの 170 万台、輸入台数は前年比約 5% 増の 159 万台、輸出台数は同比約 10% 増の 24 万台となった。

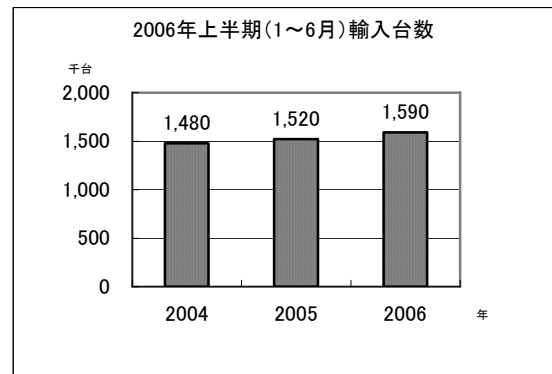
<国内生産>



<輸出>



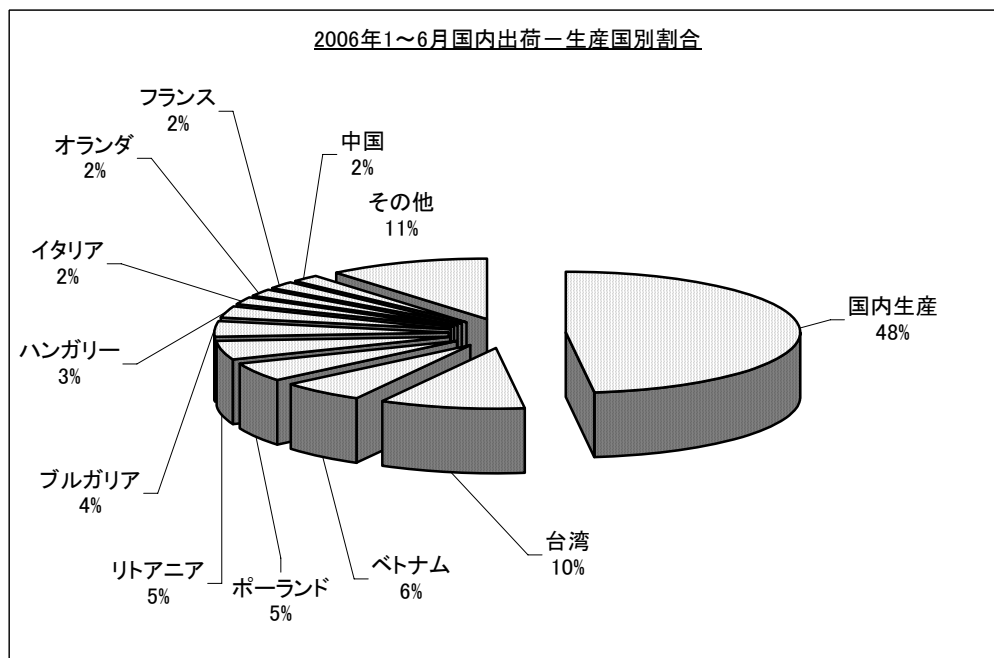
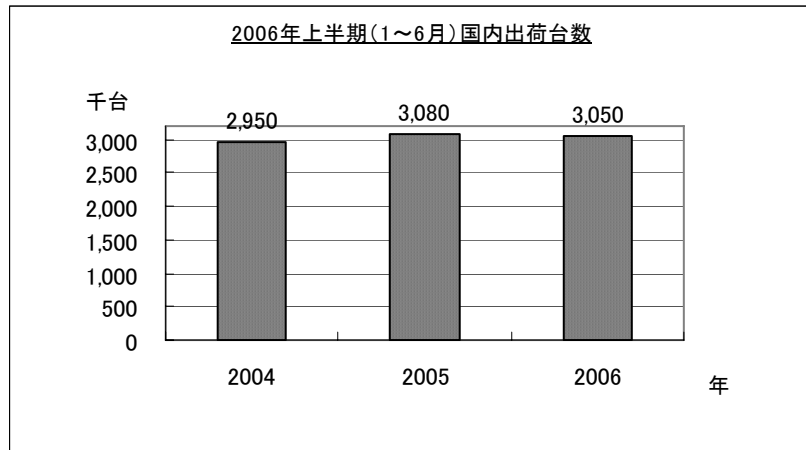
<輸入>



国内出荷の生産国別内訳によると、国内生産が 48% を占め、台湾の 30.5 万台、昨年 AD 税賦課で順位を下げたベトナムが対前年比 13% 増の 18.5 万台と続き、ブルガリアが同比 102% 増の 12.3 万台、ハンガリーも同比 76% 増の 8.7 万台と大幅に増加した。一方で、ポーランドは同比 33% 減の 16.8 万台、リトアニアは同比 28% 減の 15.1 万台と減少している。52% の国外生産の大半は、EU 加盟 25 カ国地域 23% とアジア地域 24% で占められるが、前年比で見ると EU25 カ国は 14% 減、アジア地域 18% 増となり、単純に地域別と各国別の状況が一致するわけではなく、同じヨーロッパ諸国の間でも更に選別が進んでいるといえる。

先日、欧州委員会はブルガリアとルーマニア、2 カ国の 2007 年 1 月からの EU 加盟を承認し、加盟国は合計 27 カ国に増える。ドイツ自転車市場ではこの EU 圏拡大を先取りした形で、自転車輸入先が変化しているともいえる。

<国内出荷>



【資料出所：ZIV】

なお、ZIVの下半期販売予測によると、8月は猛暑による販売不振、9月は自転車・部品ともに好調ではあったが、2007年1月から付加価値税（VAT）が現行の16%から19%に上昇するため、消費者の購買減退などにより下降傾向になるとしている。

（デュッセルドルフ事務所）